

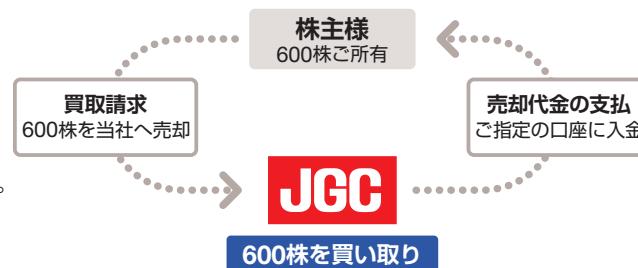
特別口座で株式を保有されている株主様へ

株券電子化制度の開始により、当社の単元未満株式（1,000株未満）を登録株式としてお持ちの株主様を中心に、「特別口座」が開設されています。特別口座に登録された株式は証券取引所で自由に売買することができません。そのため、対象の株主様には以下のお手続きをおすすめしています。

▶ 単元未満株式の買取請求 ～単元未満株式(1,000株未満)をお持ちの場合～

1,000株未満の株式をお持ちの株主様は、単元未満株式の買取請求をご利用いただけます。
本制度をご利用いただくと、お持ちの単元未満株式を手数料無料で当社に売却いただけます。
お手続きは三菱UFJ信託銀行までお問合せください。

※買取価格は、買取請求書類が三菱UFJ信託銀行に到着した日の終値となります。



▶ 証券口座への振替 ～単元株式(1,000株以上)をお持ちの場合～

特別口座に登録された株式を証券口座に振替えていただくことができます。
証券口座に振替えた単元株式は、証券取引所で自由に売買することができます。
振替に必要なお手続きはお取引の証券会社までお問合せください。



※証券口座をお持ちでない株主様は、新たに証券口座を開設していただく必要があります。お手続きは最寄りの証券会社までお問合せください。
※単元未満株式についても証券口座へ振替えていただくことができますが、証券取引所では自由に売買することができません。

Q 特別口座が開設されたかどうかわかりません。

A 三菱UFJ信託銀行までお問合せください。特別口座の開設状況や必要なお手続きを通話料無料でご案内します。

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 0120-232-711(東京) 0120-094-777(大阪)



日揮株式会社 JGC CORPORATION

証券コード：1963

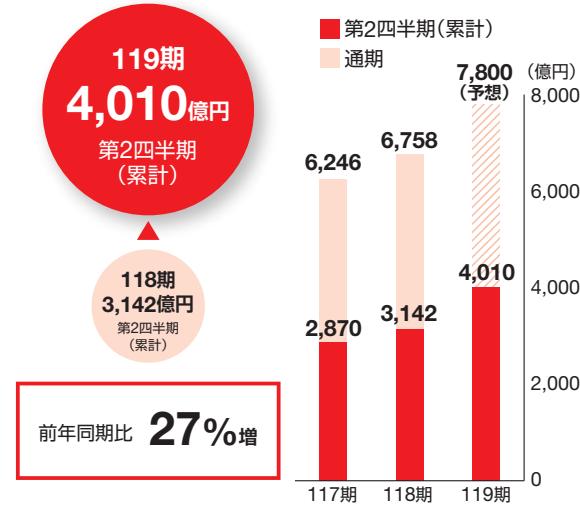
第119期 株主通信

2014年9月期 2014年4月1日～2014年9月30日

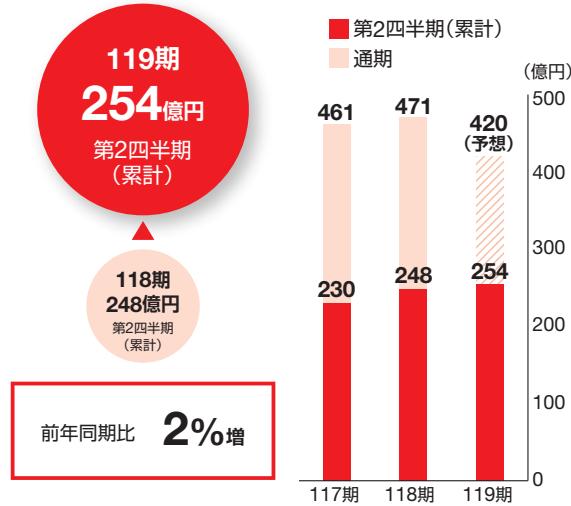
JGC

決算ダイジェスト(連結)

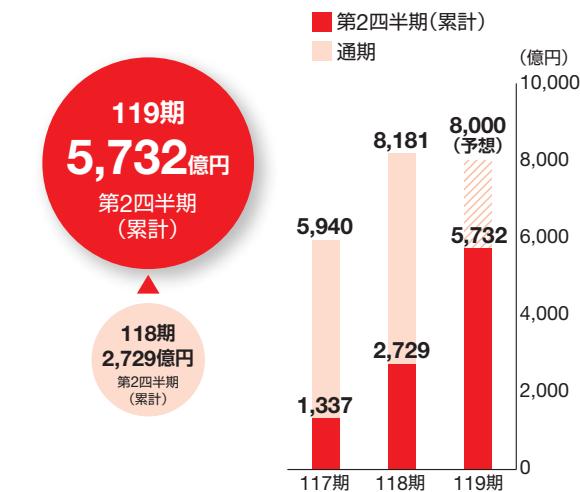
売上高



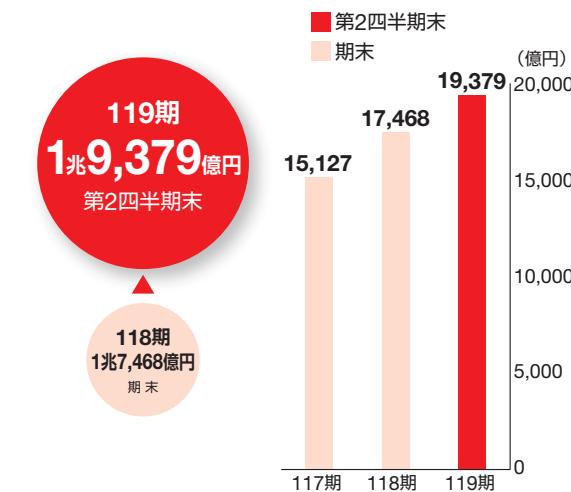
四半期(当期)純利益



受注高



受注残高



※契約金額の修正・変更および為替変動による修正を加えております。

ご挨拶

株主の皆様には、日頃から日揮(JGC)グループをご支援いただき、心から御礼申し上げます。

ここに、2014年9月期(2014年4月1日～2014年9月30日)の株主通信をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

本年6月、代表取締役会長の竹内敬介が退任し、今後は相談役として日揮グループの発展を支えることになりました。そして、取締役副社長兼CFOの佐藤雅之が代表取締役会長に就任し、その他役員も含め新体制となりました。2011年4月からスタートした中期経営計画「NEW HORIZON 2015」も今年で4年目を迎え、残すところ1年半となりました。新体制のもと、経営陣一同日揮グループの更なる飛躍のため邁進してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも、一層のご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役会長
佐藤 雅之

代表取締役社長
川名 浩一

株主の皆様へ

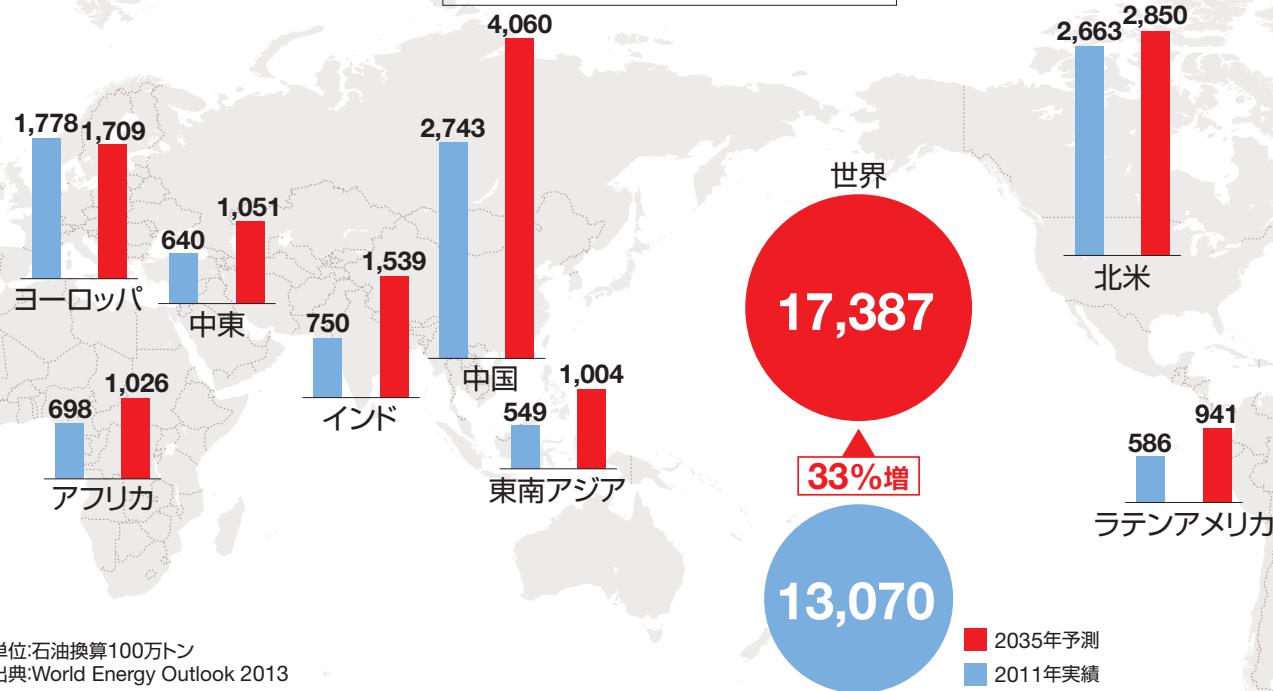
業績報告

日揮（JGC）グループが展開する総合エンジニアリング事業に最も関係の深い産油・産ガス諸国では、世界的な人口増加や新興国の経済成長を背景としたエネルギー需要の増加により、引き続き多くの石油・ガス分野への投資が計画されております。

このようなマーケット環境のもと、プロジェクト

遂行体制の更なる強化と、コスト削減の結果、日揮グループの当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高4,010億円、営業利益310億円、経常利益353億円、純利益254億円となりました。また、当第2四半期連結累計期間における受注高については、5,732億円となりました。

主要地域、国別エネルギー需要予測



変化する事業環境への対応

2014年度のエンジニアリングマーケットについては、2013年度に引き続き、新興国での人口増加および経済発展に伴うエネルギーの需要増を背景に、メジャーオイルや資源国の国営石油会社により、中東、東南アジア、北米等で設備投資が継続されると予測しています。

特に、北米地域においては、シェールガス開発の進展により安価で豊富なシェールガスを原料とするLNG（液化天然ガス）プロジェクトやガス化学プロジェクト等が多数計画されており、1つ1つのプロジェクトは従来に比べ金額規模が大きくなり、当社が手掛けるプロジェクトについても例外ではありません。また、ロシアや東アフリカ等においても複数の大型LNGプロジェクトが計画されています。

これらは、金額規模の大きさに起因するリスクを低減する観点から、これまでの高い利益率を求め

一括請負型契約ではなく、実費償還型契約と一括請負型契約を含むハイブリッド契約となる見込みです。また、当社は、このような環境下においても利益額を拡大させるために、複数の大型案件を一定の粗利益率のもとでこれまで以上に着実に遂行していくことが求められます。

当社はこのような事業環境の変化をチャンスと捉え、北米のみならずロシア、東アフリカ等のマーケットの拡大に取り組んでいます。また、国内においては福島県相馬郡におけるLNG受入基地建設工事の受注が決定しております。

当社は2014年度後半も、プロジェクト遂行力のより一層の強化とコスト削減を図るとともに、プロジェクトの受注拡大に向けて果敢にチャレンジしてまいります。



青森県八戸市において日揮が遂行中のLNGターミナル建設工事

5~6ページ「北米本格進出」へ

北米本格進出



JGC JGC America, Inc.

JGC America社 始動!

2014年5月15日、米国テキサス州ヒューストンにおいて、当社のエンジニアリング子会社であるJGC America社は開所式を行い、本格的に第一歩を踏み出しました。JGC America社は、今後の有望市場である北米で、より顧客に近い位置で主体的にFEED（基本設計役務）やEPC（設計・調達・建設）を遂行できるエンジニアリング会社を目指します。数年内に従業員規模を拡大させ、北米マーケットでの重要拠点としてJGCの存在感を北米でも高めてまいります。



JGC America社

実績の着実な積み増し

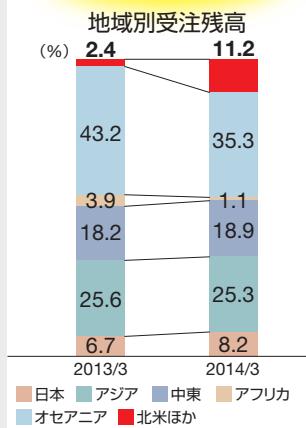
当社は、優れたプロジェクトマネジメント力および高い技術力が評価され、現在、北米において複数の大型プロジェクトを手掛けています。昨年受注したシェブロンフィリップス・ケミカル社向け世界最大級のエチレン製造プラント建設プロジェクトの他、複数の大型プロジェクトが実現に向け進み始めています。当社にとって北米の事業割合は急激に拡大しており、北米マーケットは大変重要な位置付けにあります。

今後も、日揮グループ丸となって事業規模の拡大を目指してまいります。



北米エチレン製造プラント建設プロジェクトの起工式

当社事業における北米の割合が拡大



連結財務諸表

四半期連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	前期末 (2014年3月31日現在)	当第2四半期末 (2014年9月30日現在)	科目	前期末 (2014年3月31日現在)	当第2四半期末 (2014年9月30日現在)
(資産の部)			(負債の部)		
流動資産	575,886	514,680	流動負債	333,353	265,892
固定資産	170,216	174,497	固定負債	32,866	34,620
有形固定資産	70,290	69,818	負債合計	366,220	300,512
無形固定資産	16,757	16,668	(純資産の部)		
投資その他の資産	83,168	88,009	株主資本	370,415	383,898
資産合計	746,102	689,177	その他の包括利益累計額	4,238	3,664
			少数株主持分	5,227	1,101
			純資産合計	379,882	388,665
			負債純資産合計	746,102	689,177

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ569億24百万円減少しました。これは前連結会計年度中に客先から入金した前受金が工事の進捗とともに支払いに充当され現金預金を含む流動資産が前連結会計年度末に比べ612億6百万円減少した一方、売上の計上に伴い未成工事受入金を含む流動負債も前連結会計年度末に比べ674億61百万円減少したことが主な理由です。

四半期連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	前第2四半期(累計) 自2013年4月1日 至2013年9月30日	当第2四半期(累計) 自2014年4月1日 至2014年9月30日
売上高	314,243	401,005
売上原価	273,307	359,205
売上総利益	40,935	41,800
販売費及び一般管理費	9,987	10,794
営業利益	30,948	31,005
営業外収益	8,024	4,676
営業外費用	382	366
経常利益	38,590	35,315
特別利益	2,354	1,726
特別損失	2,685	555
税金等調整前四半期純利益	38,259	36,485
法人税等	13,221	10,953
少数株主利益	215	99
四半期純利益	24,822	25,432

当第2四半期連結累計期間の売上高、売上総利益および営業利益は前年同期比で増収・増益となりました。経常利益および税金等調整前四半期純利益は、外貨建金銭債権債務の期末評価替による為替差益が減少したこと等により前年同期比で減益となりましたが、法人税等の減少により四半期純利益は前年同期比で増益となりました。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	前第2四半期(累計) 自2013年4月1日 至2013年9月30日	当第2四半期(累計) 自2014年4月1日 至2014年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	62,068	△ 113,386
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 12,512	△ 11,456
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 10,454	△ 9,392
現金及び現金同等物に係る換算差額	23	531
現金及び現金同等物の増減額	39,125	△ 133,705
現金及び現金同等物の期首残高	284,777	385,252
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	152	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	324,055	251,547

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物は、前年同四半期連結会計期間末と比較し、725億7百万円減少し、2,515億47百万円となりました。また、当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりです。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益が364億85百万円となりましたが、未成工事受入金の減少等により結果として1,133億86百万円の減少となりました。この未成工事受入金の減少は、前連結会計年度中に入金した客先からの前受金が工事の進捗とともに支払いに充当されたことに加え、近年受注した大型案件がいずれもジョイントベンチャー案件であり、ジョイントベンチャー案件の場合には、その前受金の入金を当社の連結キャッシュ・フロー計算書に反映していないこと等によるものです。投資活動によるキャッシュ・フローは、カンボジア病院事業への投資等により114億56百万円の減少となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払等により93億92百万円の減少となりました。

1億3000万時間超の休業無災害記録達成!!



当社は、2014年4月にカタールの大型ガス処理プラント建設現場において、1億3千万時間という世界トップレベルの休業無災害記録を達成しました。1億時間の休業無災害とは毎日2万人の作業員が500日間工事作業に従事して、大きなケガが1回も発生しなかったということを示しています。

近年はプラント建設に対し、事業者や社会による健康・安全・環境(HSE:Health, Safety, Environment)への関心が高まっており、当社は早くから重要性を認識して対策を重ねてきました。今回の記録達成は「HSE No.1コントラクター」を目指す当社にとって大きな成果といえます。

当社は今後もHSEに配慮して事業活動に取り組み、企業の社会的責任を果たしてまいります。



日揮(JGC)グループ

当社、当社子会社50社および関連会社38社からなる日揮グループは、各種プラント・施設の計画、設計、建設、試運転役務に関する事業ならびにこれらに付帯する機材調達、検査・保守および各種情報サービスに加え触媒・ファイン製品の製造・販売等を営んでいます。

各事業における当社および主要なグループ会社の位置づけは、以下のとおりです。

▶総合エンジニアリング事業

設計・調達・建設

- 日揮プラントイノベーション株式会社
- JGC SINGAPORE PTE LTD (シンガポール法人)
- JGC PHILIPPINES, INC. (フィリピン法人)
- PT. JGC INDONESIA (インドネシア法人)
- JGC Gulf International Co. Ltd. (サウジアラビア法人)
- JGC VIETNAM COMPANY LIMITED (ベトナム法人)
- JGC Algeria S.p.A. (アルジェリア法人)
- JGC OCEANIA PTY LTD (オーストラリア法人)
- JGC America, Inc. (米国法人)

検査・保守

- 青森日揮プラントック株式会社

プロセスライセンスング

- 日揮ユニバーサル株式会社

温室効果ガス排出権取引

- JMD温暖化ガス削減株式会社

▶触媒・ファイン事業

触媒・ファイン事業

- 日揮触媒化成株式会社
- 日本ファインセラミックス株式会社
- 日揮ユニバーサル株式会社

▶その他の事業

原油・ガス生産販売事業

- JGC Energy Development (USA) Inc. (米国法人)
- JGC Exploration Eagle Ford LLC (米国法人)
- JGC EXPLORATION CANADA LTD. (カナダ法人)

機器調達

- 日揮商事株式会社
- JGC Italy S.r.l. (イタリア法人)

発電、造水事業

- JGC-ITC ラービグユーティリティ株式会社
- 日揮みらいソーラー株式会社

情報処理サービス

- 日揮情報システム株式会社

オフィスビル管理

- 日揮ビジネスサービス株式会社

コンサルティング

- 日本エヌ・ユー・エス株式会社

■ 連結子会社 ■ 関連会社で持分法適用会社 2014年9月30日現在

